

目標管理シート変更点について

1 第2回アドバイザーボード時点 目標管理シート（案）について

目標管理シートについては、事業の進捗管理と達成状況を明確化するために作成し、前回アドバイザーボードにおいて、目標管理シート（案）として提出したところ、下記のようなご意見をいただいた。

- (1) 干潟・湿地の保全の中に、底質の項目を追加すべきである。定量的な基準を盛り込むことは難しいが、定性的な基準を追加すべきである。
- 観察会や野鳥ガイド時に、工夫してアンケートを行うべきである。
- 干潟環境調査を有益なものとするために、予算を投入し、水質や底質のデータモニタリングをするべきである。
- 全体的に目標項目が多すぎるため、精査するべきである。
- 事業にあたっては、協働事業者と大阪市がしっかりと連携し、実行すること。
- 干潟の状況改善のための実験的な管理手法については様々な手法を考慮し、決定すべきである。

2 目標管理シート変更点について

上記のご意見を踏まえ、目標管理シートを修正した。

変更のポイント

- 底質の定性的な目標値基準→定性的な基準として、「目指すべき将来像」の項目に「有機物が堆積しやすく、シギ・チドリ類が好む多様な餌生物が生息している底質の状況」という表現を記載。
- アンケートの実施→8,9月に実施
- 水質や底質のデータモニタリングの実施→底生生物については、年2回調査を実施。
水質調査については実施検討中。
- 目標項目の精査及び協働業者、大阪市間の連携
→全体的に項目を見直し、事業運営について協働事業者と大阪市が互いに役割分担。
- 干潟の状況改善のための実験的な管理手法については様々な手法を考慮し、決定すべきである。
→干潟再生プロジェクトチームを開催し、干潟の管理方法について検討。

また、現状分析や要因分析について、平成27年度上半期の状況を踏まえ、時点修正を加えた。